

## 令和6年度 事業報告

### ○ 北奥羽地域内の基盤整備事業の促進に関する要望

北奥羽地域の特性を活かした一層の振興を図るため、高速交通体系の整備促進、国道・県道を中心とした圏域内道路網の整備促進、農林水産業・商工業への各種支援など、生活・経済の基盤整備について、岩手県、秋田県、青森県に対しそれぞれ要望を実施した。

### ○ 北東北3県ドクターヘリの広域連携運航に係る運用の柔軟化に関する要望

北東北3県におけるドクターヘリの広域連携運航については、平成26年10月1日付けで運航マニュアルが改正され、「自県ヘリ優先要請」を原則としつつも、他県ヘリの出動要請要件に「自県の搭乗医師が救命に効果的であると判断した場合」が追加されたところである。

しかしながら、現在の運航マニュアルにおける「自県ヘリ優先」のもとでは、極めて緊急を要する患者で、他県ヘリが現場から直近に位置する場合であっても、まずは自県ヘリに出動要請をしなければならず、一刻を争う状況下では致命的な初療の遅れとなることが懸念される。

一方、先進地域においては、傷病者の救命率向上及び予後改善のため県境に捉われない運航を実現しており、一分一秒でも早く医師が患者のもとに駆けつけ治療を開始できる体制が、ドクターヘリの持つ本来の機能、効果が十分に発揮される最も望ましいあり方であることから、基地病院からの運航距離及び時間を勘案して、他県ドクターヘリを第一優先として出動要請できる地域を定め、当該地域においては、消防本部から直接他県ドクターヘリを要請できる体制を構築するよう、岩手県、秋田県、青森県に対しそれぞれ要望を実施した。

また、要望とは別に、現場の実情や課題を共有し、要望事項の早期実現を図るため、3県および消防本部をはじめ、関係機関と意見交換を実施した。